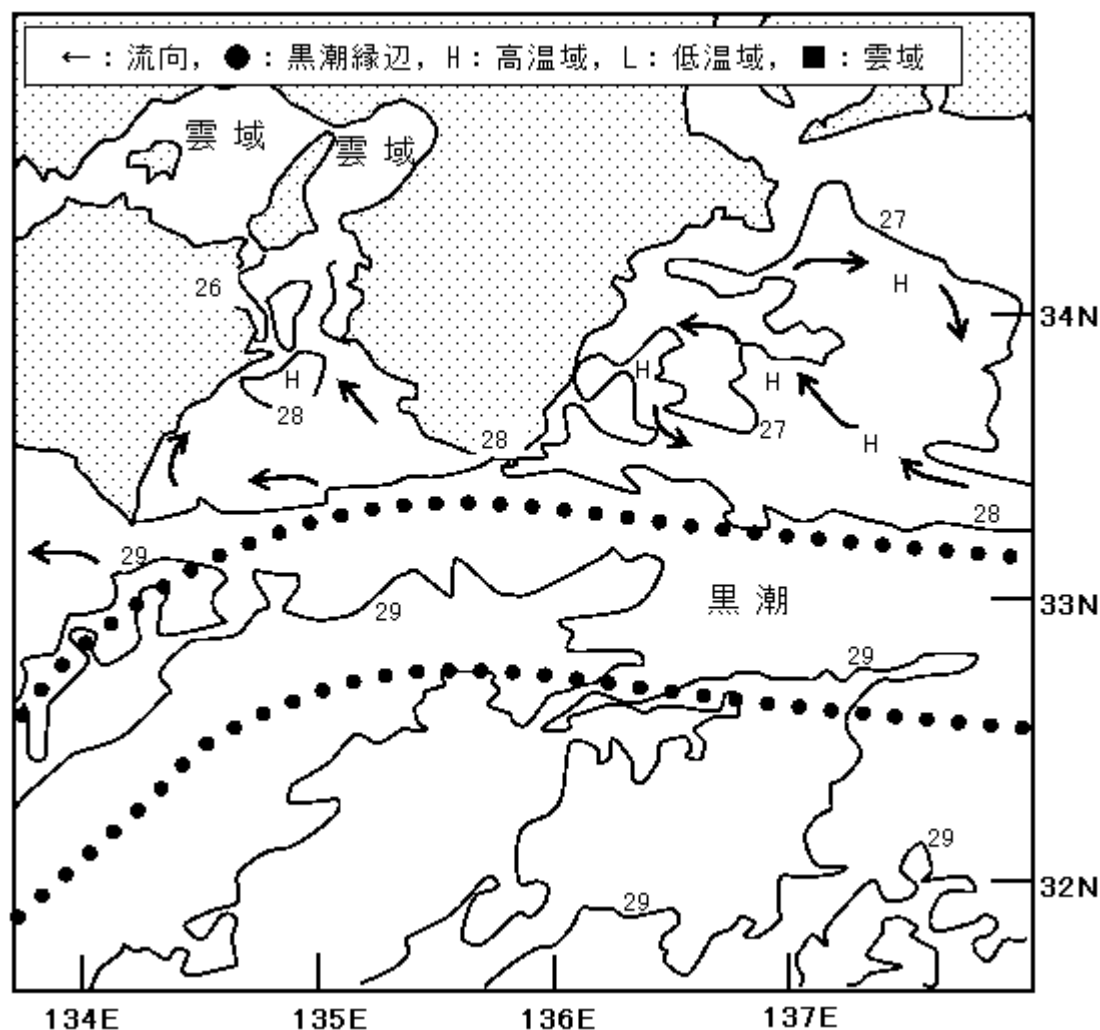


1. 海況の経過



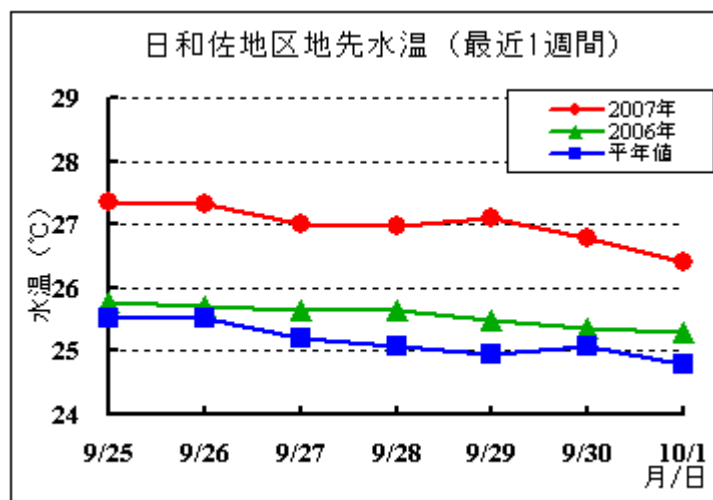
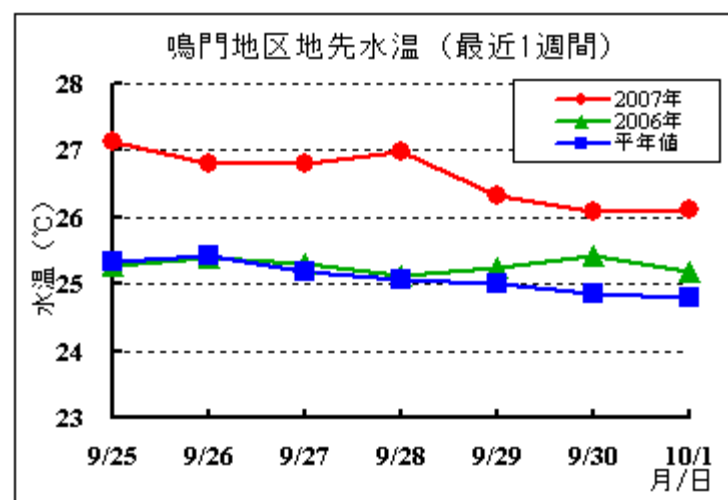
上に三重県の人工衛星画像海況速報(H19.9.28~29)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は28~29°C台である。

表面水温は播磨灘と紀伊水道内部の一部の範囲が雲のため詳細は不明、その他の範囲の紀伊水道内部は25~27°C台、外域は27~28°C台である。潮岬沖~室戸岬沖の黒潮が接岸しているため、両岬側から27°C台の黒潮系水が紀伊水道外域に流入している。

<地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」~「高め」の26.1~27.0°Cで、日和佐地区が「高め」の26.4~27.3°Cで、牟岐地区は「やや高め」~「高め」の25.8~26.8°Cで推移した。



2. 漁況の経過

**小型定置網:**海 部沿岸で、かます類が3.4トン(1日1隻あたり37kg)、小主体にマアジが2.3トン(同32kg)、小小主体にマサバが1.9トン(同74kg)、マルソウダが1.6トン(同27kg)、とびうお類が0.6トン(同10kg)、アオリイカが0.6トン(同10kg)水揚げされた。先週に引き続き海部 沿岸でかます類のまとまった漁獲がみられた。

**建網:**海部沿岸で、カワハギが0.7トン(同61kg)水揚げされた。

**釣り:**海 部沿岸で、タチウオが3.5トン(同66kg)、小主体にヨコワが1.3トン(同36kg)、中主体にシイラが1.0トン(同57kg)、中主体にカンパチが0.3トン(同6kg)、紀伊水道で中主体にサワラが0.6トン(同14kg)、タチウオが1.2トン(同36kg)水揚げされた。現在、海部沿岸にタチウオの漁場が形成されている。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが13.1トン(同133kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)9月24日～9月30日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	かます類	91	3,355	37	
		マアジ	70	2,256	32	小主体
		マサバ	26	1,932	74	小小主体
		マルソウダ	61	1,633	27	
		とびうお類	62	605	10	
		アオリイカ	58	561	10	
建網		カワハギ	11	669	61	
釣り	海部沿岸	タチウオ	53	3,489	66	
		ヨコワ	36	1,288	36	小主体
		シイラ	17	971	57	中主体
		カンパチ	46	259	6	中主体
	紀伊水道	サワラ	41	574	14	中主体
		タチウオ	33	1,189	36	
パッチ網		シラス	98	13,050	133	

**特異事項:**

蒲生田岬南付近でユウレイクラゲの出現がみられる。

**週間予報:**

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖ともに接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の26℃台、日和佐地先で「やや高め」の26℃台で推移する見込み。

**他県情報:**

和歌山県の釣りでスルメイカが13.0トン(1日1隻あたり61kg)、タチウオが3.3トン(同16kg)、イサキが1.8トン(同9kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが40.5トン、サバ類が5.8トン、マイワシが14.7トン、ウルメイワシが6.1トン、マルソウダが53.7トン、かます類が7.6トン、シイラが2.5トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上